資 料 1

平成１９年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」の概要

手づくり郷土賞とは

「手づくり郷土賞」は、地域の個性、魅力を創出している良質な社会資本及びこれらを核とした地域づくり活動を広く募集、発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、社会資本整備にあたっての創意・工夫を促し、個性あふれ活力のある地域づくりに資することを目的として、昭和６１年度に創設された国土交通大臣表彰制度です。

『 部　門 』

『地域整備部門』：地域の個性・魅力を創出し、地域の魅力資源あるいはシンボルとして、多くの人々に利用され、かつ地域の理解と協力を得て良好に維持管理されている社会資本を対象。

『地域活動部門』：社会資本と関わりをもちつつ地域の個性、魅力、活力を創出するとともに、地域づくりに多くの貢献や波及効果をもたらしている公益性のある活動を対象。

『大 賞 部 門』：「手づくり郷土賞」を受賞してから１０年以上にわたって地域住民に親しまれ、積極的に維持、活用されるなど、地域の魅力を創出し、又は地域のシンボルとなっている良質な社会資本を対象。

選定について

「手づくり郷土賞」は“手づくり郷土賞選定委員会”の審査を経て選定されております。

「手づくり郷土賞」選定委員会

委員長	鈴木　道雄	全国建設弘済協議会会長
委　員	大村　哲夫	（財）港湾空間高度化環境研究センター理事長
	金安　岩男	慶應義塾大学教授
	酒井　孝	(社)雪センター理事長
	田村　美幸	公共の色彩を考える会会長
	中村　良夫	東京工業大学名誉教授
	西村　幸夫	東京大学教授
	藤吉　洋一郎	大妻女子大学教授
	藤原　まり子	(株)博報堂生活総合研究所客員研究員
	榊　正剛	国土交通省総合政策局長

平成19年度受賞件数

今年度は、全国各地から地域整備部門１３件（東北１件）、地域活動部門２０件、大賞部門１９件（東北５件）の応募があり、選定委員会において、**地域整備部門７件（東北１件）**、**地域活動部門９件**、**大賞部門１１件（東北２件）**が選定されています。